

安全・健康

基本的な考え方

JSRグループで働くすべての就業者（従業員、協力会社員）が安全に働き、幸せだと感じる会社を目指すとともに、地域社会の責任ある一員として環境・安全に配慮した事業活動を行い続けます。『安全は製造業で働く全ての人にとって最も大切な価値であり、事業活動の大前提である』という考えの下、JSRでは、『安全の基本理念』を定め無事故・無災害を目指します。

安全の基本理念

「安全」は、我々にとって、何よりも優先すべき大切な価値であり、すべての活動の基盤です。日々の仕事を終え、無事に帰るといふ、当たり前な幸せのために、安全・安心な職場作りと心身の健康作りに努めます。

安全の基本方針

・高い安全行動

安全の基本理念が浸透、行動指針が自分事として定着し、主体的安全活動により保安力が向上している。

・人財・組織力の強化

組織運営に必要な教育訓練プログラムの確立、実行により、高い個人スキルと組織能力、健全な組織風土を維持している。

・最適なリスク管理と保安対策

リスク重要度に応じた保安対策が、新技術を活用して効率的、効果的に実行されている。

安全の行動指針

- ・どのような状況下でも、常に安全を意識して行動する。
- ・決められたルールを遵守し、安全行動を率先する。
- ・顕在または潜在するリスクの把握と低減に努め、安全を確保する。
- ・働きやすい職場環境作り、心身の健康増進に努める。
- ・コミュニケーションと創意工夫で全員参画の活動を目指す。

安全マネジメントシステムと目標

JSRでは、安全管理規程に基づき、労働安全と保安防災に関する規程、手順を定めた「安全マネジメントシステム」を事業所ごとの状況に合わせて構成し、運用しています。当社グループ企業においても、各社の持つマネジメントシステムに基づき、PDCAサイクルを確実に運用することで、顕在または潜在するリスクの低減に努めています。

本マネジメントシステム、およびその活動の有効性を検証するため、各事業所主体での内部監査やパトロール、マネジメントレビュー、および社長をトップとした本社環境安全監査を定期的実施しています。この検証結果は次年度の目標と重点項目に反映させ、重点項目への集中的な取り組みを通じて、効率的かつ効果的に改善につなげています。

また、万が一事故が発生した場合に、適切かつ有効に対処し、被害の拡大防止を図るためのマニュアルを定めています。本マニュアルに基づいて原因究明、対策の実施、有効性の検証を行い、再発防止に努めています。あわせて、これらの情報をグループ内で共有することで、類似の事故の未然防止に役立てています。

2022年度には、労働災害と設備災害の発生件数を当社グループの「安全・健康」のマテリアリティの評価指標（KPI）として、評価基準をグローバルに統一し、モニタリングを開始しました。2023年度はこれら指標の動向を解析し、具体的な活動方針とグローバル目標を設定しました。さらに当社グループ共通の安全の考え方をベースにした



詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。
https://www.jsr.co.jp/sustainability/society/security_safety.shtml



評価システムについての詳細は、下記で公開予定です。
https://www.jsr.co.jp/sustainability/society/security_safety.shtml

心身の健康

JSRグループは、従業員の身体と心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活のために、また職場の生産性および活気のある職場づくりのために非常に重要であると考えています。従業員が心身ともに健康で働けることをサポートするためにさまざまな施策を実施しています。

また当社は、従業員エンゲージメント向上や労働生産性向上を目的に、組織活動の基本となる従業員の健康づくり促進活動「JSR Health Promotion」を推進しています。

この取り組みは、「全社員が自ら健康について考え、行動できる組織」となることを最終的なありたい姿・目標として掲げています。従業員一人ひとりのための、自分に合った、自分でできる健康維持・向上策を会社が提供・サポートすることを目指し、活動しています。

これらの取り組みの結果を第三者が実施するサーベイを通じて客観的に評価、課題を抽出して改善し、PDCAサイクルを回すことで、より効果的な健康保持増進施策を展開し、従業員の健康を支援していきます。

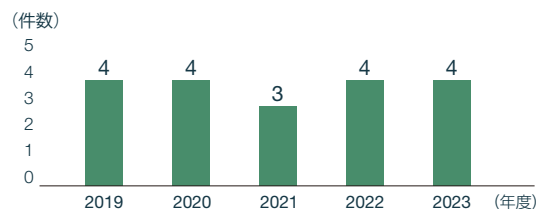


詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。
https://www.jsr.co.jp/sustainability/society/security_safety.shtml

安全な職場環境の構築

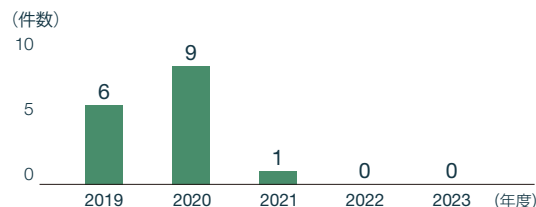
ゴール 労働災害の件数ゼロ

労働災害件数(休業4日以上:JSRグループ)



ゴール 設備災害の件数ゼロ

設備災害件数(重大災害:JSRグループ)



注:2022年4月にエラストマー事業をENEOS株式会社に譲渡しました。そのため、2021年度まではエラストマー事業を含む数値となっており、2021年度から2022年度にかけて数値が大きく変動している場合があります。

労働災害

2023年度のJSRグループにおける休業4日以上の労働災害発生件数は、目標2件以下に対して4件(国内3件、海外1件)と、目標未達となりました。不休業労働災害以上の解析では、協力会社員は減少傾向でしたが、社員が増加傾

向でした。発生原因の分析では主に作業環境の不備、ルール不遵守などが原因になっているという特徴が見られたため、事故事例の水平展開などポイントを絞った短期的な活動と、安全文化の浸透のような長期的な活動を組み合わせ、労働災害の撲滅を図っていきます。一方、前年度に国内で多く見られた腰痛は対策の効果があり、大幅に減少しました。

設備災害

2023年のJSRグループにおける重大な設備災害*発生件数は0件であり、目標(0件)を達成しました。一方、これより小さい設備災害は増加しました。主な発生原因は老朽化設備の管理に関するものやルール不遵守などです。繰り返し教育を強化するとともに、引き続き安全文化の浸透に取り組むことで災害撲滅を図ります。

※弊社基準の危機レベルAに該当する設備災害

活動実績

2023年度は、JSRグループ共通で取り組む安全活動内容を再整理し、国内外全拠点との安全に関する連絡体制構築を進めるとともに、コミュニケーションを強化しました。あわせて、共通活動の試行を開始しました。

環境安全監査

2023年度は、①リスク及び遵法管理、②事故管理、③環境安全KPIの推進を重点項目として、JSR2事業所、国内グ

ループ企業8事業所に加え、新たに海外グループ企業3事業所(中国、韓国)を対象として監査を実施しました。いずれの事業所でも緊急性を要する指摘はありませんでしたが、事故原因の深掘りや遵法管理の効率化など共通の課題がありました。また、前年度に課題となっていたエラストマー事業譲渡後の新体制整備や重要リスクの管理状況は大きく改善されていました。海外グループでの監査は、今後さらに拡大して行く予定です。

リスク管理の徹底

2023年度は、JSRグループ共通の環境安全に関する重要リスク基準を見直し、国内外の製造拠点を対象に実態調査を実施しました。2024年度は調査の確度を上げ、最終的な重要リスクの特定と管理強化を図ります。さらにR&D拠点でも同様の調査を実施していきます。

安全文化の醸成

2023年度はJSRグループ共通の安全の考え方の浸透として、eラーニングを導入しました。国内グループ全拠点とNV(ベルギー)で試行し、いずれも高い理解度が得られました。2024年度は海外グループ全拠点到展開します。また、2023年度は安全の考え方をベースにした安全レベル評価システムを構築。国内外6事業所で試行し、安全レベルを効果的に把握できることを検証できました。2024年度は他の製造拠点にも展開していきます。